

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37865
事業名	算数にーごープロジェクト事業費					
評価担当課	所 属	教)学校教育部 教育推進課			電話番号	011-211-3891
施策名	多様性が尊重された環境の下で、子どもは、自分の特性や興味に応					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理	○ 法定経費	○ 指定管理費
	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	算数にーごープロジェクト事業は、25人程度の少人数指導の充実を図ることで、学習への意欲や論理的思考力を高めることを目的として、平成28年度に開設した。
	事業内容(何を実施し)	・全市立小学校の第5・6学年において、本市独自の指導資料(カリキュラム)を用いた25人程度の少人数による指導を実施する。 ・にーごー講師を対象とした研修会を、全市合同で1回、区ごとに年2回実施する。 ・令和5年度は、算数にーごープロジェクト事業で培ってきた取組を基盤に、算数科において、学びのその先を考えた教育のモデルをつくり、札幌市全体で子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びを他学年及び他校種に波及させていくなど、令和6年度以降、さらなる発展を目指していくことを整理した。 ・令和6年度から実施する算数学び「beyond」プロジェクト事業の概要を整理し、リーフレット及び説明動画を作成した。 ・札幌市教育課程編成の手引と単元の導入に使用する本市独自の教材「イントロスライド」を一体化させた「beyondパッケージ」を、第5・6学年の5単元ずつ作成した。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	算数科における子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びの実現にむけて、各小学校における実践事例を全市で共有できる環境をつくっていくとともに、「beyondパッケージ」の充実を図っていきたい。
	他都市の状況	他の自治体において実施している事例は把握していない。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	270,688 千円	うち特定財源	48,079 千円	正規職員業務量	3 人工
令和5年度予算額	299,000 千円	うち特定財源	38,749 千円	正規職員業務量	0 人工
令和5年度決算額	274,161 千円	うち特定財源	34,414 千円	正規職員業務量	0 人工
令和6年度予算額	146,000 千円	うち特定財源	23,018 千円	正規職員業務量	0 人工

指標	アウトプット活動指標1	小学校5・6年生における算数少人数指導実施校の割合			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		100	100	100	100	100	100
	↓						
	アウトカム成果指標1	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろ			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		78.1	80	－	80	80	80
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	全市立小学校の6学年において、本市独自の指導資料を用いた25人程度の少人数による指導を実施できた。令和7年度からは算数学び「beyond」プロジェクト事業の趣旨を踏まえ、各学級ごとで実施する。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	学習への意欲や論理的思考力を高めるため、講師研修会を実施し、一定程度授業力の向上を図ることができた。今後は、子どもの視点で捉え直した授業づくりという点から、更なる改善を図る。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	令和6年度からは、これまでの算数にーごープロジェクト事業で培ってきた取組を基盤に、課題探究的な学習を子どもの視点で捉え直し、「学びのコントローラーをもっているのは子ども自身」をコンセプトに、算数科における子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びの実現を目指す。